

武庫川水系河川整備計画 進行管理(PDCA) 第2期(H28~R2) 総括 (案)

1. 2期総括

資料4

総合的な治水対策の取り組み

★喫緊の課題への対応

～下流部築堤区間の安全度向上～

薄黄色のハッチングは2期計画から遅れ気味の項目を示す。

薄緑色のハッチングは2期計画より進捗した項目を示す。

黄色のハッチングは見直し箇所。

項目	点検指標	第1期(H23~H27)		第2期(H28~R2)		第3期(R3~R7)		
		当初計画	実績	当初計画	実績	当初計画	見直し後	
河川対策								
1	下流部築堤区間	低水路幅幅2,580m	1,500m	704m完了	2,080m(潮止堰取合部以外)完了	1,246m完了 (累計1,950m完了)	工事完了	同左
	南武橋改築	-	-	・関係機関協議 ・工法・施工計画検討	工事着手	R1下部工完成 R2 上部工架設完了	南武橋工事完了,阪神高速、阪神電鉄橋梁着手	同左
	潮止堰改築 塩水対策 2,356m	塩水化対策 工事着手	250m完了 撤去に先立つ塩水化対策 工事をH27に着手	塩水化対策工事の継続 (潮止堰撤去は第3期着手)	塩水対策 774m (累計 1,024m)	R7潮止堰工事着手 塩水対策完了	同左	
6	堤防強化工事	浸透対策 7.3km	6.2km	6.2km完了、100%	工事完了	工事完了	-	-
		侵食対策 6.2km	0.7km	0.7km完了、100%	工事完了	工事完了	-	-
		計画高水位以上の洪水に対する被害緩和対策	-	-	-	工事着手	計画高水位以下の対策を完了後、可能なものから実施	可能な箇所から実施
7	遊水地・青野ダム活用	遊水地	工事着手	H27工事着手	工事完了	工事完了	-	同左
	青野ダム活用	試行操作の継続(事前放流量20→40万m ³)	試行継続	試行操作の継続(事前放流量20→40万m ³)	R2.6から事前放流量を20万m ³ から40万m ³ に拡大	洪水調節容量の拡大(事前放流量を予備放流量(40万m ³)に位置付け)	同左	

★戦後最大洪水への対応(下流部築堤区間以外)

～段階的な安全度向上～

項目	点検指標	第1期(H23~H27)		第2期(H28~R2)		第3期(R3~R7)		
		当初計画	実績	計画	実績	当初計画	見直し後	
河川対策								
2	下流部掘込区間	河床掘削等	青葉台 0.5km	地元合意に至らず未着手	河床掘削0.5km	森興橋下流R2着手	工事継続	同左
					左岸拡幅着手	西宝橋架替関連で一部着手		
3	中流部	武田尾住宅地区 490m	250m	・250m完了、100%	工事完了	工事完了	-	-
		武田尾温泉地区 360m	用地補償	・護岸工事着手 ・支障物件の移転完了	工事完了	工事完了	-	-
4	上流部及び支川	9 河川 (km) 大池川 0.2 波豆川上流 0.6 大堀川 1.2 荒神川 0.6 波豆川下流 0.3 山田川 1.9 相野川 1.4 上流武庫川 1.9 波賀野川 0.4	工事着手	8河川で工事着手 ※工事の進捗は遅れ気味	5河川 工事完了 4河川 工事継続	2河川 工事完了 大池川・波豆川上流 7河川 工事継続(累計) 大堀川 0.3(0.3) 荒神川 0.1(0.3) 波豆川下流 0.2(0.2) 山田川 0.1(1.2) 相野川 0.3(0.3) 上流武庫川 0.8(1.3) 波賀野川 0.1(0.1)	3河川工事完了 (累計8河川完了) 1河川工事継続	6河川工事完了 (累計8河川完了) 1河川工事継続
		堤防強化(支川)	天王寺川	0.2km	完了:0.2km	第1期で完了	-	-
		天神川 3.8km	1.4km	完了:1.56km (H22まで0.92km完了)	工事継続 1.0km	1.21km完了 (累計 3.69km完了)	工事完了	同左
流域対策								
9	流域対策	学校・公園・ため池 64万m ³	学校・公園・ため池 約5.7万m ³ 着手	学校・公園 2.0万m ³ 着手	整備継続 約12.3万m ³ 完成	14.2万m ³ 完了 (累計 15.5万m ³ 完了)	整備継続	検討中

★超過洪水への対応

～超過洪水が発生した場合の深刻なダメージの回避～

項目	第1期(H23～H27)		第2期(H28～R2)		第3期(R3～R7)	
	当初計画	実績	計画	実績	当初計画	見直し後
減災対策						
10 減災対策	①水害リスクに対する認識の向上(知る) ②情報提供体制の充実と水防体制の強化(守る) ③的確に避難するための啓発(逃げる) ④水害に備えるまちづくりと水害からの復旧の備え(備える)	①手作りハザードマップ作成、講座・研修開催 ②実践的な訓練の実施 ③防災ネット加入促進、避難経路の屋外表示 ④建物等の耐水化、上層階への避難訓練	継続的に実施	①想定最大規模降雨浸水想定図作成公表 ②手作りハザードマップ作成、講座・研修開催 ③実践的な訓練の実施 ④防災ネット加入促進、避難経路の屋外表示 ⑤建物等の耐水化、上層階への避難訓練	継続的に実施	同左

★次期計画へ向けた対応

～基本方針の目標達成に向けた安全度の向上～

項目	第1期(H23～H27)		第2期(H28～R2)		第3期(R3～R7)	
	当初計画	実績	計画	実績	当初計画	見直し後
河川対策						
8 洪水調節施設の継続検討(千苅ダム治水活用他)	さらなる安全度の向上に向け、利水ダムの治水活用について検討	H27より千苅ダムの治水活用について神戸市と水質への影響や水道水源としての水量確保の方法について協議中	継続的に実施	千苅ダム治水活用工事着手 新規ダム継続検討	千苅ダム治水活用検討 新規ダム継続検討	千苅ダム治水活用試行開始 同左

利水・環境の取り組み

★河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

～状況を的確に把握し、必要に応じた対策を実施～

項目	第1期(H23～H27)		第2期(H28～R2)		第3期(R3～R7)	
	当初計画	実績	計画	実績	当初計画	見直し後
11 正常流量の確保	・流水利用の適正化 ・適正な水利用の推進	正常流量(1.5m ³ /s)を確保	・流水利用の適正化 ・適正な水利用の推進	取組中	継続的に実施	同左
12 緊急時の水利用	・湯水調整および広域の水融通の円滑化 ・緊急時の河川水利用の円滑化	点検指標に該当する事案がなかったため未実施	水需要の動向を踏まえ、必要に応じて実施	広域的な水融通を行なう連絡官の工事中	水需要の動向を踏まえ、継続的に実施	同左
13 健全な水循環の確保	①流域水循環把握に必要なデータの収集 ②森林、農地、ため池の整備や適正な管理(関係機関連携) ③貯留浸透施設の整備(関係機関連携)	①雨量、水位等のデータ蓄積 ②間伐・作業道の開設、ため池維持管理 ③道路側溝等の浸透化	①流域水循環把握に必要なデータの収集 ②森林、農地、ため池の整備や適正な管理(関係機関連携) ③貯留浸透施設の整備(関係機関連携)	各機関で取組中	継続的に実施	同左

★河川環境の整備と保全

～河川環境の整備と保全における治水対策との整合性～

項目	第1期(H23～H27)		第2期(H28～R2)		第3期(R3～R7)	
	当初計画	実績	計画	実績	当初計画	見直し後
14 2原則の適用	・動植物の生活環境の保全・再生	・上流部におけるオギ群集の再生	継続的に実施		継続的に実施	同左
15 天然アユが遡上する川づくり	・魚道の改善 ・みお筋、産卵場、稚魚期の生息場所の保全再生	・2号床止工の魚道改良 ・アユ遡上調査、産卵場づくり	継続的に実施	・2号床止工で簡易な鋼製魚道を試験設置 ・アユ遡上調査実施	・魚道改善は重点化を図り改善に取り組む ・みお筋、産卵場、稚魚期の生息場所の保全・再生に取り組む ・アユの生息実態調査を必要に応じて検討	同左
16 良好な景観の保全・創出	・自然景観を基調とした武庫川らしい景観の保全・創出 ・治水上支障がない範囲での緑化修景 ・樹木伐採を最小限とする施工方法等の検討	・護岸の法面緑化	継続的に実施	各区分で継続的に実施	河川整備の進捗にあわせて継続的に実施	同左
17 人と河川の豊かなふれあいの確保	・地域住民の多様な要請への対応 ・河川利用の利便性の確保と自然を生かした水辺の創出や施設整備	・出前講座やセミナーを通じた広報を実施	継続的に実施	仁川河口部での土砂撤去による生物生息空間の復元など継続的に実施	継続的に実施	同左
18 水質向上	・下水道放流水のさらなる改善 ・水質状況の的確な把握 ・水生植物による浄化機能の向上	・水質汚濁防止法に基づき調査を継続実施(健康項目は概ね環境基準を達成。生活環境項目は環境基準を達成)	継続的に実施	下水事業PRなど継続的に実施	継続的に実施	同左

河川の維持管理等に関する取り組み

項目	第1期(H23～H27)		第2期(H28～R2)		第3期(R3～R7)		
	当初計画	実績	計画	実績	当初計画	見直し後	
★河川の維持管理 ～日々の取り組み、データ等の積み上げ～							
19	維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 「兵庫県河川維持管理計画」に基づく巡視点検の実施 必要に応じて維持・修繕工事等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じ護岸補修工事、樹木伐採を実施 	継続的に実施	巡視点検の結果に基づき適正管理を実施	継続的に実施	同左
21	モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な観測によるデータの把握 事業実施前後のモニタリング 流量観測データの蓄積 	<ul style="list-style-type: none"> 河川監視カメラによる観測情報の公開 流量観測(低水・高水)を継続的に実施。 	継続的に実施	各種データの収集蓄積など継続的に実施	継続的に実施	同左
★参画と協働の武庫川づくり ～多様な主体との連携・支援～							
20	流域連携	<ul style="list-style-type: none"> 参画と協働の推進 情報発信、連携・交流の支援等の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> 武庫川づくり交流会、現地体験バスツアー、河川清掃活動等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 参画と協働の推進 地域社会と河川の良好な関係の構築に向け、継続的に実施 	武庫川づくり交流会開催など継続的に実施	<ul style="list-style-type: none"> 参画と協働の推進 地域社会と河川の良好な関係の構築に向け、継続的に実施 	同左
★着実な計画の推進 ～PDCAサイクルによる進行管理～							
22	フォローアップ	<ul style="list-style-type: none"> PDCAサイクルの考え方に基づいた進行管理の実施 フォローアップ懇話会の開催 地域住民等との情報の共有化 	<ul style="list-style-type: none"> PDCAサイクルの考え方に基づくフォローアップ懇話会を開催し、地域住民との情報の共有化を図る。 	継続的に実施	PDCAサイクルの考え方に基づくフォローアップ懇話会を開催	継続的に実施	同左

総括

- ・河道対策については、一部目標達成できなかった項目もあるが、目標を超えて実施できた項目もあり、全体としては順調に進捗している。
- ・洪水調節施設対策については、千苅ダム治水活用工事着手、青野ダム事前放流量拡大など目標を上回る進捗となっている。
- ・流域対策については、流域貯留事業で2期目標を達成したが、整備計画目標64万m³に対して半分に至っていない。3期計画の設定をどうするかについては現在調整中。
- ・その他、各機関が行なう流域対策については、それぞれ計画的に進められている。
- ・減災対策についてはそれぞれ各機関が精力的に取り組んでおり、浸水下での歩行訓練など工夫を凝らした訓練が行なわれている。
- ・要支援者利用施設の避難計画策定状況は第7回懇話会での意見を踏まえ点検項目に追加した。
- ・環境の維持創出に関しては河川整備計画の進捗に併せて取り組むとともに、アユの遡上調査、魚道改良についても継続的に実施している。